



教育情報

桂川っ子

【問合せ先】桂川町教育委員会 ☎65・1149



題字：桂川中学校美術部
齊藤 成実 さん

■コロナ禍での教育の創造 桂川町教育委員会 教育長 大庭 公正

新型コロナウイルス感染症の終息も未だ見えない状況において、かつて経験したことのない、また、予想ができない不透明な時代だからこそ、時代を見据えたしつかりとした目標がより必要となってきます。

コロナ禍の今、「感染症対策」と「教育活動の充実」という両面を回していくことが教育委員会の仕事だと思っています。

そこで、本町教育行政が本年度大事にしていく目標として、第一に「子どもの生き抜く力を育む」ことです。コロナ禍の今だからこそ、これまでも増して、豊かな心と健やかな体の育成、確かな学力の定着を進めていくことです。今年度から実施していくGIGAスクール構想（児童生徒一人に一台のタブレット端末の配備）を効果的に活用して、「生きる力」から「生き抜く力」へと発展させていきます。

第二に「学校の教育力を高める」ことです。コロナ禍で不安を持っている子どもたちに対して、教員の授業や生徒指導をはじめとする指導力の

向上は欠かせません。また、学校経営においても、経営者の確かなマネジメント能力はますます重要となってきます。

第三に「社会全体で学びを進める」ことです。コロナ禍で様々な活動が制限される中、学校・家庭・地域がそれぞれの教育機能を生かした地域社会づくりをしていくことは、地域協働の基盤です。人生百年時代を迎える今、個々の学びと関わって一層の活性化が求められます。

第四に「歴史と文化を育てる」ことです。桂川駅周辺開発が進む中、王塚古墳をはじめ貴重な歴史遺産や文化遺産は本町の宝であり、保存・活用を通して、その価値や魅力を次代に継承することも大きな役割です。さらに、文化・芸術活動を通じた心の豊かさを醸成していかなければなりません。

以上のことを進めていくためには、「チャレンジ（挑む信念）」が不可欠です。チャレンジ精神が教育推進の原動力です。現状維持は後退です。

令和三年度も皆様方のご理解とご協力をいただきながら、町教育行政の推進・充実に向けて、積極的に、着実に進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

子育て支援センター

「ひまわりのたね」だより

【問合せ先】子育て支援課 子育て支援係 ☎65・0081



梅野よしみ 保育士

■一歩踏み出してみませんか？

今年も別れと出会いの時期を迎えました。昨年はコロナ禍の中で、これからどうなっていくのだろうと思いつながら桜を見ていました。今年は不安よりも希望の方を強く感じて桜を見上げています。

「ここがなかったら、私はノイローゼになっていたと思う。本当によかったです。」「子どもだけでなく、他のお母さんともいろんな話ができて楽しかったです。」「家では見られない子どもの姿が見られました。」等の感想を聞くことができました。その親子も今頃は新しい環境の中でスタートを切っていることでしょう。

最近、初めての利用者も少しずつ増えていきます。「ずっと家にいたので、私ちゃんと話せていますか？」と心配そうなお母さんのそばで9ヶ月の子は本当にいい笑顔を見せていました。

下の子が生まれて家の中ばかりだったお母さんは、お姉ちゃんと一緒に遊んでやっていた。帰りに「赤ちゃん連れで上の子を遊ばせに来る親子は多いよ。私たちは赤ちゃんのフォローにまわるね」と声をかけました。

また先日などは、「子どもより私の方が話したくて！」というお母さんに「はい、聞きますよ！」と言いつつ笑いながら聞いていました。みなさん、いろいろな思いで利用しています。

お母さんたちと一緒に子どもの成長を楽しみながら、それぞれの親子の支援をさせていただきます。

春ですよ。一歩踏み出してみませんか？親子で遊びに来てください。

子育て支援センター「ひまわりのたね」

【開館】月～金曜日 9～16時
【場所】総合福祉センター「ひまわりの里」内
【対象】0歳から未就学の子どもとその保護者
※利用には保護者の付き添いが必要です
【利用料】無料